

医師確保対策について

～ これまでの主な取組 ～

岐阜大学医学部の定員増と地域枠の設定

- ・ 定員の増
H19年度:80名、H20年度:90名、H21年度:100名、H22年度～:107名
- ・ 地域枠の設定
地域枠:岐阜県出身者で、岐阜県の地域医療に従事する意欲のある者の岐阜大学医学部推薦入学枠
H20年度:10名、H21年度:15名、H22年度～:25名

岐阜県医学生修学資金の貸付

- ・ 卒業後一定期間を県内の公立病院等で勤務することを条件とした修学資金制度
貸付実績 第1種 H20年度:10名、H21年度:15名、H22年度:25名 (岐阜大学医学部地域枠学生)
第2種 H20年度:47名、H21年度:25名、H22年度:10名 (岐阜大学医学部学生及び岐阜県出身の他大学医学部生)
(貸付実績は、該当年度に新たに貸付を行った人数)

岐阜県臨床研修病院合同説明会

- ・ 県内の臨床研修医の増加を図るため、県内の臨床研修病院が一堂に会し、県内外の医学生に対し、研修プログラム・待遇等の説明を実施
H20より実施 平成22年10月11日(祝) 13:00～17:00 じゅうろくプラザにて今年度も実施

自治医科大学卒業医師のへき地診療所等への派遣

- ・ H22:8市町村へ11名派遣



～ 今後の取組 ～

岐阜県医師育成・確保コンソーシアムの設立

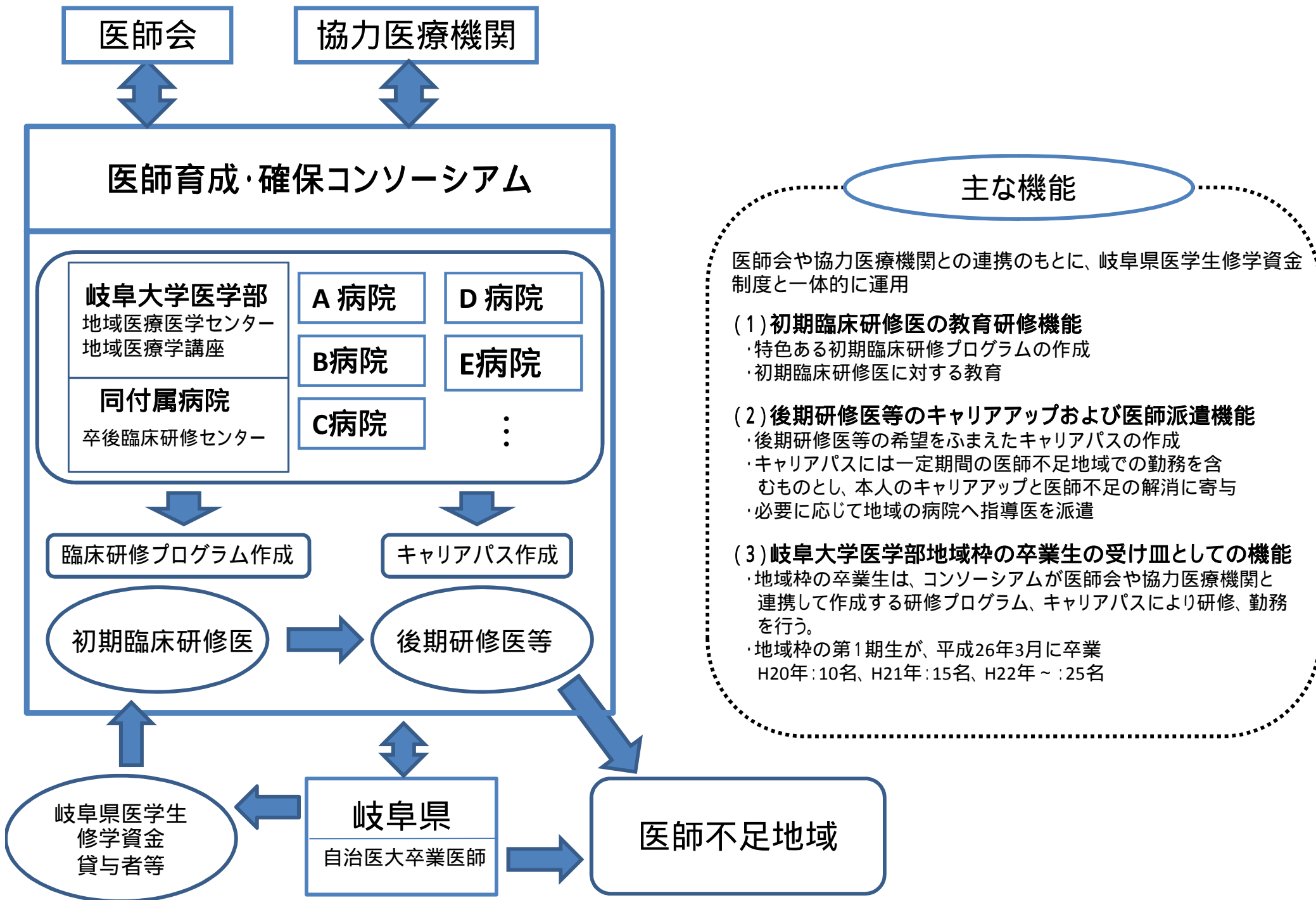
【目的】

岐阜大学、同附属病院、研修医等が多く集まる病院が相互に連携・協力して、地域枠をはじめとする貴重な人材を岐阜県全体の財産として育成し、医師の県内定着と地域医療の確保に繋げることを目的に、コンソーシアムを設置する。

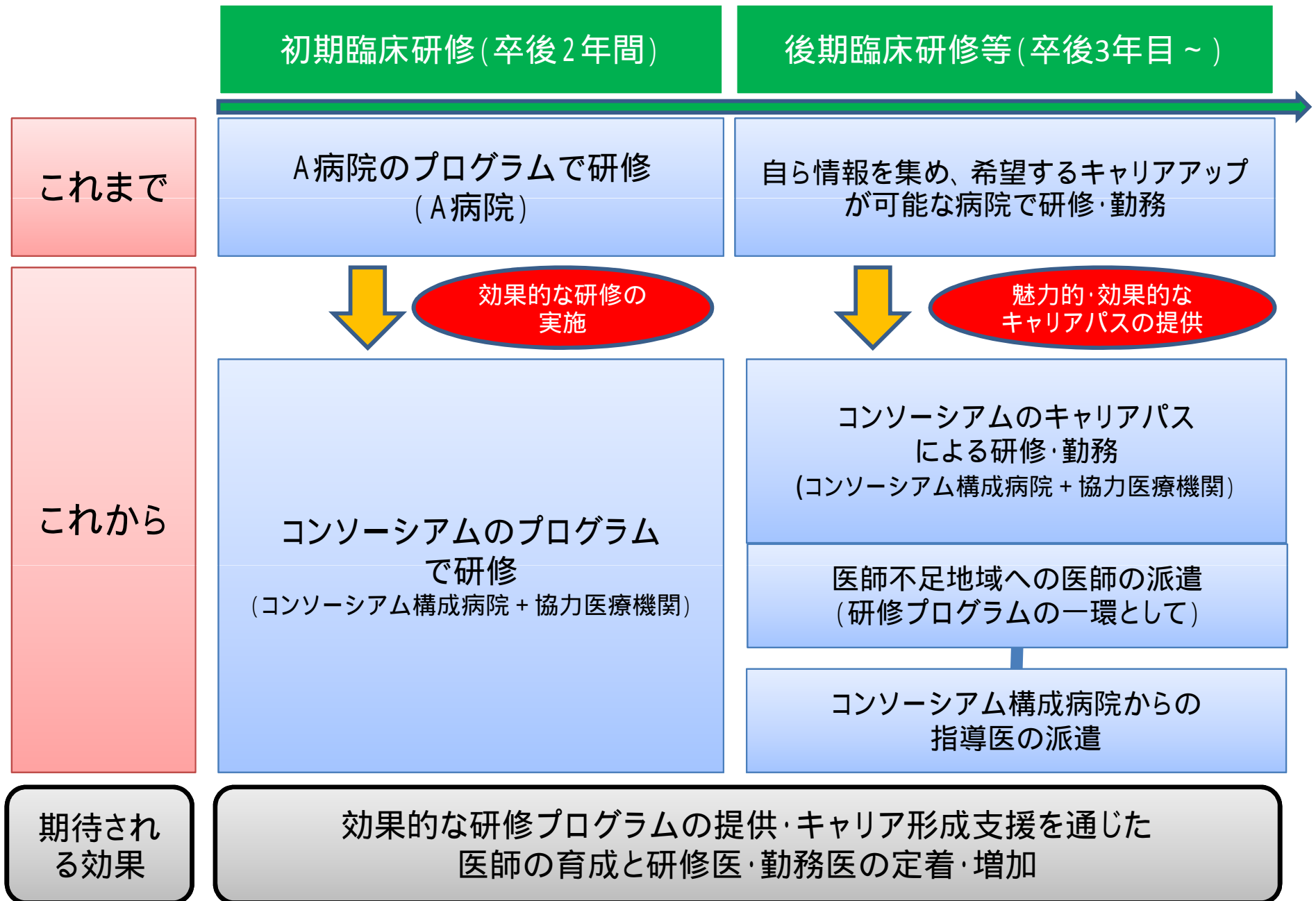
【構成機関】

- ・ 岐阜大学医学部、同附属病院
- ・ 研修医が多く集まる病院(8病院)
岐阜県総合医療センター、岐阜市民病院、
松波総合病院、大垣市民病院、
中濃厚生病院、木沢記念病院、
県立多治見病院、高山赤十字病院

医師育成・確保コンソーシアムの概要



医師育成・確保コンソーシアム ～ 医師の育成 ～



医師育成・確保コンソーシアム ～ 地域医療の確保 ～

